|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | イスラエル人の民族的宗教で，キリスト教の母胎となった宗教は何か。 |  |
| 2 | イスラエル人の別称は何か。 |  |
| 3 | 天地や人間をつくりあげた創造主であるユダヤ教の唯一神とは何か。 |  |
| 4 | イスラエル人だけが，神から特別な恩恵を授かり，救われると解する考え方は何か。 |  |
| 5 | ユダヤ教においては神の預言をこの世で実行する王，キリスト教においては人類の罪をあがない，救済をする神の子とは何か。 |  |
| 6 | ユダヤ教（キリスト教）の経典で，イエスの出現以前の古い契約の教えと民族の歴史をまとめたものは何か。 |  |
| 7 | 『旧約聖書』に描かれている神が人間と世界を創造することを何というか。 |  |
| 8 | アラビア半島の北西部に位置し，セム語族の国家が興亡したイスラエル人の祖国となる土地とは何か。 |  |
| 9 | ユダヤ教で，神が創造した人類の祖（男・女）はそれぞれ何か。 |  |
| 10 | 『旧約聖書』において，イスラエル人の伝説上の始祖とされる人物はだれか。 |  |
| 11 | 選民思想などの教義をもち，特定の民族だけを救済の対象とする宗教は何とよばれるか。 |  |
| 12 | ユダヤ教で，人々に信仰を徹底させることをめざし，神の意志やことばを伝える指導者を何というか。 |  |
| 13 | ユダヤ教において，師という意味をもち，教えに精通した律法学者を何というか。 |  |
| 14 | ユダヤ教で，神が民族にあたえた宗教と生活のうえの命令を何というか。 |  |
| 15 | イスラエル人の指導者が，シナイ山で神から授かった10カ条の戒律とは何か。 |  |
| 16 | 十戒に記された，7日に一度の聖なる休日とは何か。 |  |
| 17 | 十戒の内容が記録されている『旧約聖書』の中の作品は何か。 |  |
| 18 | 十戒を授かったイスラエル人の指導者とはだれか。 |  |
| 19 | 神と信者との関係をあらわすことばは何か。 |  |
| 20 | イスラエル人の律法遵守とそれに対する神の救済の約束を何というか。 |  |
| 21 | ヘブライ王国の第2代国王で，聖母マリアの夫ヨゼフの祖先とされる人物はだれか。 |  |
| 22 | ダビデ王の子でヘブライ王国を最盛期に導いた人物はだれか。 |  |
| 23 | 紀元前926年，ヘブライ王国の分裂後，その北部を領土とし，サマリアを首都とした国は何か。 |  |
| 24 | 紀元前722年にイスラエル王国を滅ぼし，オリエントを初めて統一した国は何か。 |  |
| 25 | 紀元前926年，ヘブライ王国の分裂後，その南部を領土とし，エルサレムを首都とした国は何か。 |  |
| 26 | 紀元前586年にユダ王国を滅ぼした国は何か。 |  |
| 27 | 新バビロニアによるユダ王国の住民の強制移住は，何とよばれるか。 |  |
| 28 | バビロン捕囚の頃，イスラエル人の悲運の原因は，律法を守らなかったことなど信仰の堕落にあると説いた預言者をあげよ。 |  |
| 29 | イスラエル人が信仰を取り戻し律法を守れば，神はこの世にメシアをおくるという教えを何というか。 |  |
| 30 | この世の終わりの日が到来し，最後の審判が行われ，神の救済によりあるべき世へと歴史が転換するという教えとは何か。 |  |
| 31 | エルサレムのユダヤ教聖地にあり，古代イスラエル王国の時代に築かれた神殿跡とされるものは何か。 |  |
| 32 | ガリラヤ地方のナザレで成長したと伝えられる，キリスト教の開祖とはだれか。 |  |
| 33 | イエスの母の名を答えよ。 |  |
| 34 | イエスが生まれたとされる場所はどこか。 |  |
| 35 | ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教の3つの宗教の聖地で，ヘブライ王国の都でもあった都市はどこか。 |  |
| 36 | キリスト教で，イエスの説く神と人間との新しい契約を意味するキリスト教の聖典とは何か。 |  |
| 37 | 神の救済のよろこばしい知らせのことで，具体的にはイエスの語ったことばや行為を何というか。 |  |
| 38 | イエスの生涯と彼が語ったことばや行為，教えなどを使徒などが記録したものは何か。 |  |
| 39 | イエスの使徒によるキリスト教伝道の記録とは何か。 |  |
| 40 | キリスト教の教えの一つで，神の人類に対する絶対的な愛とは何か。 |  |
| 41 | アガペーの特色としてあげられる主なものは何か。 |  |
| 42 | 「あなた自身を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」とイエスにより説かれた愛とは何か。 |  |
| 43 | 「心を尽くし，精神を尽くし，思いを尽くして，主なるあなたの神を愛せよ。」とイエスにより説かれた愛は何か。 |  |
| 44 | 隣人愛・神への愛などのイエスの福音を人々が信じることによって救われることを何というか。 |  |
| 45 | 隣人への愛を説く戒めは後にキリスト教道徳を示すものとして何とよばれたか。 |  |
| 46 | 黄金律のことばとは何か。 |  |
| 47 | 人間が神とイエスの教えに背く行為を何というか。 |  |
| 48 | 罪深い人類が，自らの罪を自覚して神の救いを求めることとは何か。 |  |
| 49 | 「マタイによる福音書」第5章に記された，イエスが丘陵上で行った説教で，「心の貧しい人々は幸いである。天国はかれらのものである。」ではじまる教えとは何か。 |  |
| 50 | イエスが批判したユダヤ教の儀式化・形式化した戒律尊重の立場は何か。 |  |
| 51 | 律法を厳格に守る教えを説いたユダヤ教の一派とは何か。 |  |
| 52 | 祭礼や儀式を偏重し，パリサイ派とともにイエスと対立したユダヤ教の一派は何か。 |  |
| 53 | そこにおいてイエスが人類の罪をつぐない，刑死し，キリスト教の象徴となったものは何か。 |  |
| 54 | イエスが十字架に処せられたといわれるエルサレムにある丘とは何か。 |  |
| 55 | キリスト教信仰の根幹で，イエスが十字架にかけられたのち，3日後に甦ったとされることを何というか。 |  |
| 56 | イエスの福音を信じて熱心に布教する伝道師を何というか。 |  |
| 57 | 十二使徒の一人で，イエスの直弟子としてその教えを広め，初代ローマ教皇とされる人物はだれか。 |  |
| 58 | 他の宗教の信仰を捨てて，キリスト教等に宗教を改めることを何というか。 |  |
| 59 | はじめはキリスト教徒を迫害していたが，イエスの声を聞き，キリスト教に回心し，のちローマ帝国においてキリスト教を伝道した人物はだれか。 |  |
| 60 | アダムとエヴァの堕罪（人間が本性的にもつ根源的な罪）は，パウロにより何と説かれたか。 |  |
| 61 | パウロにより説かれ，イエスの十字架の死により，すべての人の罪があがなわれたとすることを何というか。 |  |
| 62 | パウロによって説かれ，人間は信仰によってのみ救われるとする教えを何というか。 |  |
| 63 | ギリシャの四元徳に対して用いられる徳の総称とは何か。 |  |
| 64 | パウロによって説かれたキリスト教の三元徳とは何か。 |  |
| 65 | イエスを救世主と信ずる信者の組織は何か。 |  |
| 66 | ペテロが中心的指導者となったイスラエルの教会は何か。 |  |
| 67 | 使徒パウロ・ペテロらが，イエスこそが救世主であると説き，布教活動を行った紀元30年～2世紀後半ころの初期のキリスト教を何というか。 |  |
| 68 | ペテロが創設したとされ，のちに「教会のなかの教会」とよばれ，キリスト教の中心となった教会は何か。 |  |
| 69 | ローマ教会の最高指導者を何というか。 |  |
| 70 | ローマ教会が中心となって形成した，「普遍的」を意味する教義を何というか。 |  |
| 71 | 特定の民族や地域を超えて世界的に普及し，各地に多くの信者をもつ宗教を何というか。 |  |
| 72 | キリスト教の正しい教義の確立を図った古代教会の指導者を何というか。 |  |
| 73 | 紀元313年，ミラノ勅令を出した皇帝はだれか。 |  |
| 74 | 神と子イエスと聖霊とは，本来神から生じた一つのものであるという説は何か。 |  |
| 75 | 三位一体の考え方を示した人物はだれか。 |  |
| 76 | 三位一体説を否定し，イエスと神とは同質でないと唱えた人物とはだれか。 |  |
| 77 | アタナシウスの説を正統とし，アリウスの説を異端と判断した紀元325年に開催された宗教会議とは何か。 |  |
| 78 | 原罪，贖罪，三元徳などパウロの思想を継承し，ローマ-カトリックの教義の確立に努力した教父とはだれか。 |  |
| 79 | 罪深い人間にまでも与えられる神の無償の愛，超自然的な愛のことで，アウグスティヌスによれば，原罪から人間を救う唯一のものとは何か。 |  |
| 80 | 神の愛や神への愛，隣人愛をラテン語で何というか。 |  |
| 81 | アウグスティヌスは，世界は二つの国の抗争の場としたが，その二つの国とは何か。 |  |
| 82 | アウグスティヌスは，二つの国の抗争に勝利するのはどこであるとしたか。 |  |
| 83 | アウグスティヌスの代表的著書を二つあげよ。 |  |
| 84 | 中世キリスト教の中心となった神学で，アリストテレス哲学を用いて体系化した哲学とは何か。 |  |
| 85 | アリストテレスの哲学を研究し，人間の理性によって信仰を合理的に説明し，スコラ哲学を大成した人物とはだれか。 |  |
| 86 | トマス＝アクィナスは自然の事物を認識する理性を何とよんだか。 |  |
| 87 | トマス＝アクィナスは神の啓示による信仰を何とよんだか。 |  |
| 88 | トマスは信仰と理性は矛盾しないが，どちらが優位に立つとしたか。 |  |
| 89 | 哲学を神学の下位に位置づけたことで知られる格言とは何か。 |  |
| 90 | トマス＝アクィナスの主著をあげよ。 |  |
| 91 | 東ローマ（ビザンツ）皇帝レオ3世による726年の聖像破壊令を契機に，843年東ローマ帝国に誕生したキリスト教会とは何か。 |  |
| 92 | 東ローマ皇帝が教皇を兼任する立場を何というか。 |  |
| 93 | 「知らぬがために我信ずる」と述べ，神の存在の証明を試みたカンタベリー大司教とはだれか。 |  |
| 94 | 理性と信仰を切り離して考えて，スコラ哲学を発展させ，人間の幸福は神を愛することであると説いた人物はだれか。 |  |
| 95 | 哲学を神学から解放させ，唯名論の立場を貫いたスコラ哲学者とはだれか。 |  |
| 96 | 神人合一を人間的極致とし，を説いたドイツの神秘主義思想家とはだれか。 |  |
| 97 | 『知ある無知』などを著し，人間性肯定や合理的精神など近代につながる思想を説いたスコラ哲学者は誰か。 |  |
| 98 | 7世紀ごろ，アラビアの預言者によって創始された唯一絶対の人格神を信ずる世界宗教を何というか。 |  |
| 99 | 絶対的服従を意味するアラビア語とは何か。 |  |
| 100 | イスラーム（教）の創始者はだれか。 |  |
| 101 | アラビア語で神を意味する，イスラームにおける唯一絶対神を何というか。 |  |
| 102 | ムハンマドがアッラーから受けた啓示，戒律，祭儀に関する規定，説教などを集めたイスラームの中心聖典を何というか。 |  |
| 103 | イスラームの信徒のことをアラビア語で何というか。 |  |
| 104 | 正義の実現と一層の拡大，発展といった使命をもっているムスリムの共同体をアラビア語で何というか。 |  |
| 105 | ムスリムの信仰のことをアラビア語で何というか。 |  |
| 106 | ムスリムがアッラーに対して信仰を表明する行為のことをアラビア語で何というか。 |  |
| 107 | イスラームで禁止されている行為で，神の像や絵画などを崇める行為を何というか。 |  |
| 108 | メッカでの旧勢力からの迫害から逃れるため，ムハンマドは622年にメッカからメディナ（マディーナ）に移住したが，このことを何というか。 |  |
| 109 | ムハンマドがメッカの旧勢力と対立したのはなぜか。 |  |
| 110 | ヒジュラの年，622年を元年とするイスラーム教の暦を何というか。 |  |
| 111 | のちにイスラームの重要な特色の一つとなるもので，メッカのクライシュ族との3度にわたる戦いのことをムスリムは何とよんだか。 |  |
| 112 | アラビア語で，ジハードは何という意味か。 |  |
| 113 | 自己の心の中の悪と闘い，自己を善くしようと努力することを何というか。 |  |
| 114 | イスラームの教えを広め，イスラーム社会を守るために敵と戦うことを何というか。 |  |
| 115 | ムスリムの信仰上の義務の総称を何というか。 |  |
| 116 | 六信とは，具体的に何を信じることか，6つ答えよ。 |  |
| 117 | 五行の一つで，「アッラーの他に神はなく，ムハンマドは神の使徒である」と証言することを何というか。 |  |
| 118 | 五行の一つで，1日5回行ってアッラーへの信仰を示す行為は何か。 |  |
| 119 | 五行の一つで，イスラーム暦9月のラマダーン月に，日の出から日没まで飲食せず，食物を恵む神へ感謝する行いとは何か。 |  |
| 120 | 五行の一つで，貧しい同胞を助けるために課せられる一種の救貧税を何というか。 |  |
| 121 | 五行の一つで，聖地メッカに行き，アッラーへの絶対的帰依を示すことを何というか。 |  |
| 122 | ユダヤ教，キリスト教でも説かれた世界の終末に下される神の裁きを何というか。 |  |
| 123 | イスラーム教で目標とされた正しい人間関係で，民族や貧富の差を越えてムスリム同士が助け合う精神のことを何というか。 |  |
| 124 | ムハンマドの死後，彼の代理人としてウンマを統治した人々のことを何というか。 |  |
| 125 | イスラーム教における三大聖地とはどこのことか。 |  |
| 126 | ムハンマドの言行，社会習慣，規範およびムハンマドの伝えた慣行を意味するものを何というか。 |  |
| 127 | クルアーンとスンナを信仰の基礎とするイスラームの一派を何というか。 |  |
| 128 | 第4代カリフのアリーとその子孫を正統なウンマの指導者の後継者であると信じ，彼らに忠誠を誓うイスラームの一派を何というか。 |  |
| 129 | イスラーム教の聖地メッカの中心にあり，ムスリムの巡礼と礼拝の対象となっている神殿とは何か。 |  |
| 130 | エルサレムにあり，ムハンマドが昇天したと伝えられる巨岩の上に築かれた礼拝堂とは何か。 |  |
| 131 | ムスリムに与えられた法で，宗教的儀礼のほか刑罰・相続・日常生活全般の規範を何というか。 |  |
| 132 | アリストテレスと新プラトン主義の哲学を融合し，『医学典範』などを著し，広く医学・自然科学・音楽を研究した人物はだれか。 |  |
| 133 | イスラーム医学を大成し，アリストテレスの研究にもすぐれ，スコラ哲学に影響を与えた人物はだれか。 |  |
| 134 | 紀元前15世紀ごろ，中央アジアからインダス川流域に移住し，農耕をはじめた民族の名をあげよ。 |  |
| 135 | アーリア人の社会で支配の手段とされ，祭司階級を最高の権威とする厳格な身分制度を何というか。 |  |
| 136 | カースト制度における主な4つの階級は何か。 |  |
| 137 | カーストの基となった種姓を何というか。 |  |
| 138 | カーストの基となった出身・血縁・職業を何というか。 |  |
| 139 | 祭式信仰を重んじた古代インドの宗教を何というか。 |  |
| 140 | バラモンの権威を強調し，王法，司法などの内容を軸に社会生活全般にわたるインドの古代法典とは何か。 |  |
| 141 | バラモン教の聖典を何というか。 |  |
| 142 | 複雑化した祭儀に関することがらや，哲学的思索を集大成した4つの『ヴェーダ』とは何か。 |  |
| 143 | 『ヴェーダ』の奥義書で秘密の教えともされている古代インドの哲学を何というか。 |  |
| 144 | ウパニシャッド哲学では宇宙の根本原理を何とよんだか。 |  |
| 145 | ウパニシャッド哲学では自己の本質・本体を何とよんだか。 |  |
| 146 | 宇宙の根本原理と個体の根本原理が一体であることを何というか。 |  |
| 147 | 来世での結果をもたらす力をもつ行為のことを何というか。 |  |
| 148 | 人間が前世・現世・来世の三世界に苦悩の生死を車輪のごとく繰り返すことを何というか。 |  |
| 149 | 行為（業）の善悪により，その人間の幸不幸や運命が定められるとする考えを何というか。 |  |
| 150 | 自分自身の行為の結果を自分が受けることを何というか。 |  |
| 151 | 衆生（生命あるもの）がそれぞれの行為（業）によって，そこに行って住むことになるという6つの世界を総称して何というか。 |  |
| 152 | 六道をすべてあげよ。 |  |
| 153 | 輪廻からの解放を意味し，煩悩の世界からのがれて心の安楽に至ることを何というか。 |  |
| 154 | バラモン教を起源とし，民間信仰を取り入れて形成された現在のインドの中心宗教を何というか。 |  |
| 155 | ヒンドゥー教における創造神の名をあげよ。 |  |
| 156 | ヒンドゥー教における維持神の名をあげよ。 |  |
| 157 | ヒンドゥー教における破壊神の名をあげよ。 |  |
| 158 | バラモンの権威や祭式の考え方を批判し，永遠の真理を追究し，悟りを得ることを説いた宗教を何というか。 |  |
| 159 | 仏教とほぼ同時期に成立し，バラモン教を批判した宗教や思想を仏教の側からは何とよんだか。 |  |
| 160 | 「勝者」の意味で，一切の欲望に打ち勝った者を意味する宗教とは何か。 |  |
| 161 | 不殺生を貫き，マハーヴィラと尊称されたジャイナ教の開祖はだれか。 |  |
| 162 | 仏教の開祖で，悟りを得るために29歳で出家したカピラヴァストゥの王子とはだれか。 |  |
| 163 | ブッダの出身部族名は何か。 |  |
| 164 | ブッダが出家するきっかけとなった出来事は，人間の苦と悟りに関わる伝承として何と言われているか。 |  |
| 165 | ブッダが真理を知り，悟りを開いたとされる地はどこか。 |  |
| 166 | ブッダが生涯を終え，入滅したとされる地はどこか。 |  |
| 167 | 人生の真の安楽を得るために行う厳しい修行法を何というか。 |  |
| 168 | 仏教では現実の世界と人間を支配している法則（真理）を何とよんだか。 |  |
| 169 | ブッダがベナレス郊外で行ったとされる最初の説法を何というか。 |  |
| 170 | この世の一切の存在は，一つとして独立するものはなく，相互に「縁よって起おこる」とする考え方を何というか。 |  |
| 171 | 人生の苦の原因に関する知識が暗く無知であることを何というか。 |  |
| 172 | 人間の精神と身体のすべてを構成する5つの要素を総称して何というか。 |  |
| 173 | 五蘊をすべてあげよ。 |  |
| 174 | すべての煩悩をなくし，高い悟りに達した境地（状態）を何というか。 |  |
| 175 | 仏教における世界と人生の4つの基本的真理を何というか。 |  |
| 176 | 四法印のなかで「人生で経験することはすべて苦である」という考え方を何というか。 |  |
| 177 | 四法印のなかで「存在するすべてのものはとどまることがなく変化・生滅する」という考え方を何というか。 |  |
| 178 | 四法印のなかで「存在するすべてのものはそれ自体では存在せず，永遠不変の実体はない」という考え方を何というか。 |  |
| 179 | 四法印のなかで「苦を脱した心静かな境地」を何とよんだか。 |  |
| 180 | ブッダの教えを人間がするべき真理を実践の観点から示した4つの真理の総称とは何か。 |  |
| 181 | 四諦のなかで「現実の人生の真相は苦である」という真理を何というか。 |  |
| 182 | 四諦のなかで「苦の原因は煩悩にある」という真理を何というか。 |  |
| 183 | 四諦のなかで「煩悩を滅すると心の安らぎの境地（状態）に至る」という真理を何というか。 |  |
| 184 | 四諦のなかで「苦を滅するための修行の方法」について示した真理を何というか。 |  |
| 185 | 生・老・病・死のように，人生で避けることのできない根本的な4つの苦しみを総称して何というか。 |  |
| 186 | 四苦を4つあげよ。 |  |
| 187 | 四苦のほかに，愛するものと別れるような苦しみを何というか。 |  |
| 188 | 怨み憎んでいるものに会う苦しみを何というか。 |  |
| 189 | 求めるものが得られない苦しみを何というか。 |  |
| 190 | 心身から生じるもろもろの苦しみを何というか。 |  |
| 191 | 四苦と愛別離苦，怨憎会苦，求不得苦，五蘊盛苦を合わせた苦しみの総称を何というか。 |  |
| 192 | 苦しんだり悩んだりする原因の盲目的な欲望のことを何というか。 |  |
| 193 | 煩悩のなかで最も大きい3つのものの総称を何というか。 |  |
| 194 | 三毒の「むさぼり」・「怒り憎しみ」・「心の迷い（無知）」の3つをそれぞれ何というか。 |  |
| 195 | 迷いの根本である煩悩を，自己中心的な見方からよんだものを何というか。 |  |
| 196 | 快楽の生活と苦行の生活の両極端をさけた正しい道を仏教では何というか。 |  |
| 197 | 快の道でも苦の道でもない中道のことで，涅槃に至るための8つの正しい修行の道を何というか。 |  |
| 198 | 八正道の一つで，正しいものの見方を何というか。 |  |
| 199 | 八正道の一つで，正しい心のもちかたを何というか。 |  |
| 200 | 八正道の一つで，正しいことばを用いることを何というか。 |  |
| 201 | 八正道の一つで，正しい行為を何というか。 |  |
| 202 | 八正道の一つで，正しい生活を何というか。 |  |
| 203 | 八正道の一つで，正しい努力を何というか。 |  |
| 204 | 八正道の一つで，正しい心を失わないことを何というか。 |  |
| 205 | 八正道の一つで，正しい精神統一をすることを何というか。 |  |
| 206 | 四法印・縁起・四諦などを理解して得たものを何というか。 |  |
| 207 | 他者をいつくしみ愛することを何というか。 |  |
| 208 | 他者に楽を与えることを1字で述べよ。 |  |
| 209 | 他者の苦を取り除くことを1字で述べよ。 |  |
| 210 | ブッダの弟子たちによってまとめられたブッダのことばを記した最古の仏典を何というか。 |  |
| 211 | 真理のことばという意味で，『法句経』と訳され，仏教の人生観・世界観が記された仏典は何か。 |  |
| 212 | B.C.3世紀ころ，仏教の保護と布教につとめたマウリヤ朝の王はだれか。 |  |
| 213 | アショカ王にならって，B.C.2世紀中ころ，仏教を信奉したクシャーナ朝の王はだれか。 |  |
| 214 | ブッダの没後，弟子たちが仏陀の教えを記し，経典としてまとめたことを何というか。 |  |
| 215 | ブッダの没後，100年たったころ教団が分裂し二十に分派したが，そのころの仏教を何というか。 |  |
| 216 | 部派仏教のなかで，教団の規則を重んじ，戒律の遵守を強調した保守的部派を何というか。 |  |
| 217 | 部派仏教のなかで，実践とブッダの精神に重じた進歩的部派を何というか。 |  |
| 218 | 在家信者が敬うべき3つのものを総称して何というか。 |  |
| 219 | 三宝とは何か。 |  |
| 220 | 三宝への帰依を何というか。 |  |
| 221 | ブッダの教えを正しく実践するために日常生活において守るべき5つの戒律を総称して何というか。 |  |
| 222 | 五戒をすべてあげよ。 |  |
| 223 | ブッダの在世中から没後の分裂していた時期までの仏教を何というか。 |  |
| 224 | 1世紀頃，部派仏教の教団改革運動と在家者の活動により誕生した仏教を何というか。 |  |
| 225 | 大乗仏教が上座部など部派仏教の出家中心主義を批判してよんだものを何というか。 |  |
| 226 | 大乗仏教が理想とした悟りを求めて万人を救うことを目指す求道者を何というか。 |  |
| 227 | 小乗仏教が理想とした自己の悟りを目指す修行者を何というか。 |  |
| 228 | インドから東南アジアへ伝播した仏教を何というか。 |  |
| 229 | インドから中央アジア，中国，朝鮮日本へと伝播した仏教を何というか。 |  |
| 230 | ブッダの教えと人格を慕って集まった信者の集団を何というか。 |  |
| 231 | 大乗仏教の思想の特色の一つで，自己の悟りを求めることよりも，他者の救済をめざすあり方を何というか。 |  |
| 232 | 上座部仏教において強調された立場で，自らの悟りを求めるあり方を何というか。 |  |
| 233 | 仏となる可能性・本性のことを何というか。 |  |
| 234 | 一切の衆生は仏陀となる可能性（仏性）をそなえているので成仏できるものであるという。これを大乗仏教では何とよんだか。 |  |
| 235 | 存在するあらゆる事物は，何一つ固定的な実体をもたないという大乗仏教の根本思想を何というか。 |  |
| 236 | 「空」の考え方を哲学的にまとめあげた大乗仏教の思想家はだれか。 |  |
| 237 | すべての存在は，それ自体で実体をもたないのが本性であることを何というか。 |  |
| 238 | 「空」の思想を展開し，大乗仏教に大きな影響を与えたナーガールジュナの著書は何か。 |  |
| 239 | ナーガールジュナの後継者により形成された学派を何というか。 |  |
| 240 | 存在するものはすべて意識の所産であるという大乗仏教の思想を何というか。 |  |
| 241 | 大乗仏教の中心思想である唯識を確立した思想家はだれか。 |  |
| 242 | 無着（アサンガ）の弟で，「唯識」の考え方を「唯識二十論」にまとめあげた思想家はだれか。 |  |
| 243 | 仏教の経典を中国語訳（漢訳）して知られる仏僧はだれか。 |  |
| 244 | 大乗仏教において，出家者にさだめられている6つの実践徳目の総称を何というか。 |  |
| 245 | 六波羅蜜のなかで，他に財を与え安心を与える実践徳目を何というか。 |  |
| 246 | 六波羅蜜のなかで，戒律を守り自己反省を促す実践徳目を何というか。 |  |
| 247 | 六波羅蜜のなかで，様々な苦しみに耐え忍ぶ実践徳目を何というか。 |  |
| 248 | 六波羅蜜のなかで，修行に努め，努力を続ける実践徳目を何というか。 |  |
| 249 | 六波羅蜜のなかで，何事にも惑わされず精神を統一し，真理を得る実践徳目を何というか。 |  |
| 250 | 六波羅蜜のなかで，真実の知恵によって迷いを取り除こうとする実践徳目を何というか。 |  |
| 251 | 迷いの身であってもさえすれば仏となることができると説いた大乗仏教の思想を何というか。 |  |
| 252 | ブッダの直接の教え（経），教団の戒律（律），弟子たちによる教え（論）などをあわせて何というか。 |  |
| 253 | 7世紀ころインドにおもむき，仏教の研究をし，中国仏教の形成に大きな影響を与えた唐の仏僧はだれか。 |  |
| 254 | 空の思想が説かれている大乗仏教初期の経典は何か。 |  |
| 255 | 『般若経』に記され，空の思想を表したことばは何か。 |  |
| 256 | 蓮華経ともよばれ，日本では天台宗や日蓮宗で重んじられている大乗仏教の中心経典は何か。 |  |
| 257 | 「一切衆生悉有仏性」のことばが記されている大乗仏教後期の中心経典は何か。 |  |
| 258 | 唯識派の思想の根本原理で，あらゆるものをつくり出す心の根本的な働きを何というか。 |  |
| 259 | 宇宙に遍在する永遠の絶対的真理としての仏を意味することばとは何か。 |  |
| 260 | 仏が現世での化身としてラマ（僧）となったとする活仏の教えを説く大乗仏教の一派は何か。 |  |
| 261 | チベット仏教やイスラームでみられる地面に伏して祈る行為を何というか。 |  |